

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21101	無限の可能性開発講座 I Development of Limitless Potential	根間・横田・ 山本・伊藤	専門	1	必修	1 年前期
科目の概要						
<p>本科目は、社会に出て仕事をする際に必要となる力『社会人基礎力』の理解と基本の修得を目標とし、コミュニケーション力(社会人基礎力の「チームで働く力」)の育成を中心に行う。授業はグループワークを中心に進め、準備段階の人間関係作りから、エクササイズやグループワークによる実践を通して、チームで課題に取り組む力及びプレゼンテーションスキルを身に付ける。</p> <p>本科目で身に付ける力は、他の科目で行われるグループワークや発表の場で必要となるだけでなく、社会に出て仕事をする際に必要となり、就職試験でも重視される能力である。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 社会で仕事をする際に必要となる力『社会人基礎力』の能力要素を学ぶ。</p> <p>② グループワークやグループディスカッションを通して、『チームで働く力』(コミュニケーション力)を身に付ける。</p> <p>③ プレゼンテーションスキル(聞き手が聞きやすい話し方で話す力、人前で話す力)を身に付ける</p>			<p>① 『社会人基礎力』に挙げられている能力要素を正しく理解し、課題や行動目標を具体的に述べるができる。</p> <p>② コミュニケーション力を発揮してグループワーク、グループディスカッションに取り組む。グループ活動を振り返って、自分のできている点、できていない点、今後の目標を具体的に述べるができる。</p> <p>③ 聞き手が理解できるように伝えたいことを整理し、相手に伝わる話し方を 10 人程度の前で実践することができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自分の課題を把握し、目標を持ってグループワークに取り組む。授業での学びや気づきを元に、授業外の時間(日常生活の中)で積極的に実践し、経験を多く積んでいる。				
	働きかけ力					
考え抜く力	実行力	本科目の到達目標、評価方法、到達目標の基準を確認し、自身で目標を設定する。設定した目標を意識して受講し、困難があっても粘り強く取り組み目標を達成できる。				
	課題発見力	現状と目標のギャップを元に、その解決方法について、理由を挙げて論理的に述べるができる。				
	計画力					
チームで働く力	創造力	他者の意見や既存の知識をそのまま使うのではなく、知識や考え方を組み合わせて、新しいアイデアを作ることができる。他者の意見をヒントに新しいアイデアを作ることができる。				
	発信力	グループワークでの意見交換やプレゼンテーションの場で、相手が理解し易いように伝え方を工夫できる。非言語コミュニケーションに気を付けて発表できる。				
	傾聴力	話を聞く際傾聴の姿勢(うなずき・あいづち)、メモができる。わからない点、少しでも不明な点があった時自己解釈せず、質問をして確かめることができる。				
	柔軟性	自分と異なる意見を否定することなく受け入れて、視野を広げることにつなげる。				
	状況把握力					
	規律性	受講上のルールや期限はどのような理由があっても厳守する。グループワークの際、自分勝手な行動をせず、グループの活動が進むように関わることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
・無限の可能性への道～社会人基礎力を育む学泉ノート						
他科目との関連、資格との関連						
本科目で身に付ける社会人基礎力は、他の科目で実施するアクティブラーニングの際必要となる。						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>・グループワークなど他者と協力して取り組む課題が中心となる。他者と協力して取り組むことは社会で仕事をする際に必要となる力である。学生時代身に付ける力として、苦手意識があってもチャレンジしてほしい。</p> <p>・授業外の行動事例がわからない場合はテキストを参考にすること。</p>			<p>・グループワークはゲーム的要素を取り入れた内容で行う。楽しみながら取り組んでいただきたい。</p> <p>・グループでの活動が大部分を占めるため、欠席者がいる場合グループの他のメンバーに迷惑がかかる。そのため欠席については厳しい評価を行う。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 11 回目の授業で、社会人基礎力の能力要素を正しく理解しているかを問う筆記テストを実施する。 秀:90 点、優:80 点、良:70 点、可:60 点。
レポート	50	②	✓	<ul style="list-style-type: none"> 授業では毎回行動を振り返り、課題と目標をシートに記述する。振り返りシートの記述量が規定に満たない場合は減点とする。 15 回目の授業で記述する振り返りシートでは、規定の記述量を満たすだけでなく、自分の行動を具体的に挙げ、能力要素毎にできていた点、できていなかった点をまとめ、課題と目標を論理的に述べているかを評価する。
成果発表 (口頭・実技)	30	③	✓	<ul style="list-style-type: none"> 15 回目の授業で、発表の実技試験を行う。聞き手に伝わる話し方のポイントに基づいて評価する。
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		<p>【主体性】自ら知識・技術を深める姿勢・行動が見られる。 【実行力】努力することで達成できる高い目標を設定し、それを達成している。 【課題発見力】現状を踏まえ、知識を活用して論理的に課題を考えている。 【創造力】既存の知識を元に試行錯誤し、独自の考えを作っている。 【発信力】相手がわかりやすく、正確に理解できるよう、工夫して伝えている。 【傾聴力】話を聞く姿勢が見られ、内容を正しく理解できるよう行動している。 【柔軟性】異なる意見であっても受け入れている。 【規律性】決められたルールは全て厳守し行動している。</p>
		②		
		③		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>【筆記小テスト】S(秀)90 点以上、A(優)80 点以上 【レポート(第 15 回授業)】「具体的行動」「課題設定」「目標設定」の記述と「記述量」を評価ポイントとする。 S(秀)評価ポイント全てが含まれ論理的に記述されている A(優)論理的に記述できているが、評価ポイントが2つしか記述されていない。もしくは、評価ポイントは3つ含まれているが論理的な記述になっていない。 【成果発表(口頭・実技)】事前に提示する評価項目に基づいて評価する。S(秀)評価項目全てできている。A(優)評価項目の4つができている。</p>	<p>【筆記小テスト】B(良)70 点以上、C(可)60 点以上 【レポート(15 回授業)】「具体的行動」「課題設定」「目標設定」の記述と「記述量」を評価ポイントとする。 B(良)評価ポイントが2つしか記述されていない。論理的な記述になっていない。 C(可)評価ポイントが1つしか記述されていない。論理的な記述になっていない。 【成果発表(口頭・実技)】事前に提示する評価項目に基づいて評価する。B(良)評価項目の3つができている。C(可)評価項目の2つができている</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・アイスブレイクエクササイズ ・コミュニケーション実践ワーク ・授業概要説明 授業の目的、内容・進め方 ・コミュニケーションについて説明 ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	*	主体性 規律性
2週 /	・ガイダンス 社会人基礎力とは 振り返りシートの目的・書き方 シラバス説明 ・全体エクササイズ ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間を振り返り、前週のワークを経て行動が変わったことを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	10 *	主体性 規律性
3週 /	テーマ「学生時代のコミュニケーションと社会で求められるコミュニケーションの違いを理解する」 ・グループワーク ・講義「チームで働く力」(コミュニケーション力)について説明。 ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	10 *	主体性 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	テーマ「発信力」「傾聴力」 ・ペアワーク ・講義「チームで働く力」(コミュニケーション力)について説明。 ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	15 *	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	テーマ「傾聴力」 ・ペアワーク ・講義「傾聴力」について説明。 ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：①一週間の振り返りを整理しておく。②テキストを用いて「傾聴力」の項目を確認する。 復習：今回の授業で学んだ「コミュニケーション力」を日常生活の中で実践する。	15 *	主体性 傾聴力 規律性
6週 /	テーマ「傾聴力」 ・講義 ・ペア、グループワーク ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	10 *	主体性 傾聴力 規律性
7週 /	『気づきの会』 外部面談者とのグループ面談を通して、仕事で必要な力を理解し、学生生活の目標を作る	【授業の実施方法】 演習 【フィードバック方法】 『気づきの会』の用紙にコメントを記載し返却	・『気づきの会』のシートを記入し提出する。 ・『気づきの会』において、外部面談者と面談し、学生生活の目標を作ることができる。	予習：『気づきの会』のシートに記載した内容を確認し、説明できるように準備しておくこと。 復習：『気づきの会』を通して気づいたことを整理しておくこと	10 *	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	テーマ「チームで働く力」 ・講義 ・グループワーク ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	10 *	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	テーマ「チームで働く力」 ・講義 ・グループワーク ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。前週の振り返りからグループワークでの目標を考える。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	10 *	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10週 /	テーマ 「考え抜く力」(創造力) 「チームで働く力」(柔軟性) ・講義 ・グループワーク ・振り返りシート記入	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：①テキストを用いて『柔軟性』の項目を確認する。 ②授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	10 10 *	主体性 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11週 /	テーマ『社会人基礎力の理解』 ・講義 ・グループワーク ・振り返りシート記入 ・確認テスト	【授業の実施方法】 演習・講義・テスト 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 ・確認テストで60点以上獲得する。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：①テキストの『前に踏み出す力』の能力要素各項目に挙げられている行動事例を確認する。 ②『前に踏み出す力』について日常生活の中で実践する	15 *	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12週 /	テーマ「発信力」 プレゼンテーションスキル 非言語コミュニケーションについて ・講義 ・個人ワーク ・グループワーク ・振り返りシート記載	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・振り返りテーマについて、ワークの経験を元に、規定量の文章で述べる事ができる。	予習：テキストの「発信力」のページを確認する。 復習：授業で実施したことを他の授業や日常生活の中で実践してみる。	10 *	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13週 /	・プレゼンテーションスキル練習 ・グループワーク 発表会に向けての準備 ・振り返りシート記載	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・振り返りテーマについて、ワークの経験を元に、規定量の文章で述べる事ができる。	予習：これまでを振り返り、グループワークにおける行動目標を立てておくこと。 復習：グループワークの内容がより良いものになるように進めておくこと。 発表原稿案を考えておく。	10 *	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14週 /	・グループワーク 発表会に向けての準備 ・テーマ『チームで働く力』 ・振り返りシート記載	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・プレゼンテーションスキルについて、自身の課題、目標を見つける。 ・振り返りテーマについて、ワークの経験を元に、規定量の文章で述べる事ができる。	予習：第12回の授業内容を再度確認しておくこと。 復習：①授業内で行ったグループワークができていない場合は完成させておくこと。また内容がより良いものになるように進めておくこと。②授業内で行ったワークを振り返り、課題点を練習しておくこと。	10 *	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15週 /	プレゼンテーション会 修了確認エクササイズ テスト(振り返りシート記入)	【授業の実施方法】 演習・講義 【フィードバック方法】 振り返りシートにコメントを記載し返却	・個人発表、振り返りシートにおいて、評価基準の3レベルを達成することができている。	予習：個人発表の練習をしておくこと。	30	主体性 発信力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力